

緑 樹

7 月 号

発 行 者

清川村立緑中学校

清川村煤ヶ谷 1933

Tel. 046-288-1241

ホームページアドレス

http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-j

「笑顔あふれる地域づくり」校長 奥脇 裕子

学校が再開し、ようやく一ヶ月が過ぎようとしています。国や県から示された「新しい生活様式」に基づいて、学校生活もようやく軌道に乗り出しました。生徒も、教師も、自分たちがやるべきことや守るべきことに主体的に取り組み、これまでとは異なる生活に向き合ってくれています。

登下校時や授業中にマスクを身につけ、前向きに取り組んでいる生徒たちが、やがて数十年後の日本や世界を背負っていく世代になった時に、令和二年のこの状況を顧み、同じ過ちを繰り返さないためにどのような大人になっているだろうか。時として、心の中でふっとわき起こる未来への展望は、決して知らん顔をしてやり過ごすことのできない重要課題も見せつけてきます。

「令和二年はつらかった、悲しかった」という思いが渦巻く環境ではなく、「令和二年があったからこそ、今こうして心豊かに生きていく」という社会を、ぜひ皆で力を合わせて作っていききたいと思

います。ともに知識や技術を身につけ、地域を支える大人世代と学び育ちゆく子ども世代が新たな生活環境を構築していけるよう、学校もがんばっていききたいと思えます。お気づきのことなどありましたら、声を届けてください。また、地域でお役に立つことがあれば、学校にも声をかけてください。保護者・地域の皆様とともに笑顔あふれる地域づくりを進めていききたいと思えます。

そんな思いを感じていたとある日、教頭から「有志の方が、草刈りをしてくださいました。本当にきれいにしてくださいました」という報告を受けました。数日前にPTA本部役員会で話題に上がっていた内容だったので、おそらく役員の皆様が、水面下で声かけをしてくださったのでしよう。また、参加者の中には本校の卒業生もいられて、母校のために情熱を注いでくれる姿も伺いました。清川村が温かい地域性を維持している所以はそこにあるのか、と改めて感じたひとときでした。感謝！

放送による生徒朝会

六月八日(月)に、放送で生徒朝会を行いました。生徒会長や専門委員長から活動目標や今月の活動について話がありました。

◆生徒会長 M・H

生徒会長のM・Hです。生徒会本部は、「3R～respect・right・respond」を目標に活動しています。respectは、「尊重」、rightは、「正しく」、respondは「こたえる」という意味です。皆さんが楽しく学校生活をおくれるよう頑張ります。よろしく願います。六月の活動は、生徒総会の準備です。今月、議案書検討があります。よりよい緑中学校にするために、たくさん意見を出して、内容の濃い生徒総会にしましょう。

◆学級委員長 K・K

学級委員長になりましたK・Kです。六月の目標は、「よりよい生活を送ることができるよう、きまりについて考える姿勢を持つ」「時と場に応じた言葉遣いについて考える」「季節や状況に合った服装や身だしなみを意識する」「落ち着いた雰囲気を作り学習に集中しよう」の四つです。各教室と昇降口にポスターを貼ってありますので意識して生活しましょう。それから6月は「正しい言葉遣い月間」です。月の目標にもあるように、時と場所に

合った言葉遣いをして、気持ちのいい学校生活を送れるようにしましょう。これも教室などにポスターを貼りますので、見てください。

◆図書委員長 Y・T

図書委員長になりましたY・Tです。各クラスに学期最初の学級文庫を置きました。朝読書に有効活用してください。また、家に持ち帰る人は、学級文庫カードに名前を記入してください。みどりホールは、六月八日から開館するので是非来てください。また、本は大切に扱ってください。

◆放送委員長 N・A

放送委員長になりましたN・Aです。皆さんに聞き取りやすい放送にしたいと思います。六月の特別プログラムの内容は、「先生紹介」です。前期の目標は、円滑で聞き取りやすく放送することです。

◆保健委員長 S・S

保健委員長になりましたS・Sです。休業の間、夜遅くまで起きていた人や、昼夜逆転していた人も

いたと思います。けれど学校生活が始まったので休業の間の生活リズムを普段の学校の生活リズムに直して、新型コロナウイルスに負けない体を目指しましょう。

◆ボランティア委員長 A・Y

ボランティア委員長になりましたA・Yです。前期の目標は、「キレイで過ごしやすい学校を目指す」です。活動の中心は、アルミ缶やエコキャップの回収を不定期に行い、毎日の活動として熱帯魚の世話を行っています。アルミ缶とエコキャップの回収のご協力をお願いします。



放送による生徒朝会後の1コマです

『感謝の気持ち』を形に…

先月手作りマスクをいただいた地域おこし協力隊の松田様と学校給食センターの皆様へ、各学年で感謝の気持ちを込めてお礼状を作成し、生徒会本部役員がそれぞれにお礼状を届けに行きました。松田様にも、給食センターの皆様にも喜んでいただきました。



↑ 四季~Quattro~の前で、松田様と

学校給食センターで、調理員のみなさんと



未来を切り拓く、しなやかでたくましい心と体を育てるという「韌」（学校教育目標）を達成するために、各学年、年二回の性教育を計画的に実施しています。

一年生では、「思春期の心と体」と題して、思春期の心や体の特徴について伝え、性の多様性についても触れた授業内容でした。生徒からは「みんな違う人間だから、一人ひとり大事にしなくてはいけないと思った」という感想がありました。授業の最後は、特に性に関する変化に、戸惑いを感じやすいので、一人

生き方を考える 性教育の授業を実施

で抱え込まずに信頼できる誰かに相談することを促しました。

二年生では、「こんな時どうする？」相手も自分も大切にするために「〜」と題して、まず、性に関する関心や態度には個人差、男女差があることへの理解を深めました。つぎに、性に関する人間関係の場面の例示に対してのセリフ、シナリオ作りを通して、相手の受け取り方の違いに気づき、相手や場面に応じたコミュニケーション方法を考えることができました。生徒からは、「一人ひとり考え方や思い方が全然違うと思いました。」「自分の意見を押し通すのではなく、相手の意見も聞いて、両方の気持ちを大切にできるといいと思った」という感想がありました。

をもとに、性欲や性行動には男女差があることを気づかせることから始まりました。デートDVを題材にし、性の多様性にも触れながら、性行動は人間の尊厳と深くかわる行為であること、お互いを尊重する行動が大切であることを考えさせることができました。生徒からは、「性の多様性は、人間のある意味個性だと思うし、一人ひとりの個性が大事にされる方向にもっと変えられたらと思った」という感想がありました。

今年の手話学習も三年目を迎え、緑中学校の手話学習が定着してきました。三年前、道徳で外部講師の先生と、愛川町から手話サークルの皆様に来校いただき、音楽科と協力して「切手のないおくりもの」を発表したのが最初でした。

文化発表会や、厚愛地区中学校文化連盟・芸術祭でも大反響を頂き二年目の昨年は「たしかなこと」を歌と手話で学習しました。厚木市文化会館での緑中学校

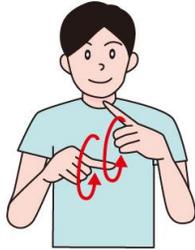
三年目の手話学習

の発表が始まったときには一瞬どよめきがおこりました。一年目に比べて二年目の手話は難題が多かったにもかかわらず、地域の皆様にも大変好評を得ることが出来ました。

そして、いよいよ三年目の今年は、中島みゆきさんの歌で「糸」に挑戦する予定です。三年生にとっては最後の手話学習になります。中学校生活の思い出になるよう練習に励み、素晴らしい発表をしてくれると思います。どうぞご期待ください。



ありがとう



手話

7・8月の行事予定

- 7月 1日(水) 学校朝会
- 2日(木) 人権アンケート
- 3日(金) 総体壮行会
- 7日(火) 生徒総会
- 9日(木) 期末セミナー
- 10日(金) 期末セミナー
- 14日(火) 期末試験
- 15日(水) 期末試験
- 21日(火) 情報モラル教室
- 28日~30日 三者面談

- 8月 5日(水) 1学期終業式
- 夏季休業
- 20日(木) 2学期始業式
- 25日(火) 学級専門委員会
- 30~9月1日 3年修学旅行

※ 予定は、変更になる場合があります。



1年生の授業の様子